

平成 29 年度臨時（電子）理事会

議案書

議決期間：平成 29 年 10 月 12 日～10 月 19 日

開催方法：電子メール*

議案：ORCID 学協会コンソーシアム設立に向けての科研費申請参加について

国立情報学研究所副所長であり、特定非営利活動法人 UniBio Press 理事である安達淳氏を代表とし、ORCID 学協会コンソーシアム設立に向けておこなわれる平成 30 年度国際情報発信強化（A）科研費申請に学会として参加することを提案致します。

尚、科研費が不採択となった場合は ORCID 学協会コンソーシアム設立については一旦白紙となります。

1. ORCID とは

Open Researcher & Contributor ID の略称で、世界中の研究者に一意的識別子を付与することを目的として 2010 年 8 月に発足した国際的、学際的な非営利団体が運営しています。ORCID は、研究組織、出版社、資金提供者、専門家団体、および研究生態系におけるその他の利害関係者を含む組織会員（メンバー機関）のグローバルコミュニティによりサポートされています。

研究者 ID のレジストリで、研究者の活動と成果を透明な仕方でリンクするシステムです。ORCID は研究分野、研究セクター、さらには国境を越えてリンクするという特徴があります。これは、研究プロフィール情報登録、論文投稿、研究助成申請、特許出願などの際に、ORCID ID を通して研究者と研究成果を結び付けるハブとなります。

研究者個人は ORCID ID を無料で取得し、自分の活動を登録できます。ORCID のレコードは登録者名、電子メールアドレス、所属機関名、研究成果など、機密でない情報のみを含みます。データは各人のものであり、メンバー機関による書き込みも、公開も各人が管理できます。ORCID ではデータのプライバシーを管理できるようなツールを用意し、米国商務省のセーフハーバープライバシー原則にのっとったプライバシー方針に基づき、何段かにわたって個人情報管理できるようにしています。

2017 年 9 月現在、世界中で 390 万人以上の研究者が登録し（日本からの登録は 68,000 件）、40 カ国 700 以上の研究機関や出版社、学協会がメンバー機関として加入しています。

詳細はこちら <https://orcid.org/>

2. ORCID 学協会コンソーシアムとは

ORCID のメンバー機関は、単独で加入する場合、2017 年 9 月現在、\$ 4,000(1Credential)または \$ 8,000(5Credential)必要ですが、5 団体以上からコンソーシアムが結成でき、コンソーシアム単位で参加する場合、メンバー機関会費が割引かれます。コンソーシアムに加入する団体が多ければ割引も大きくなり、最高で 1 団体あたり \$ 3,000(5Credential)となります。コンソーシアム内での会費や Credential のやりくりが可能になります。

そこで、日本国内の学協会でコンソーシアムを立ち上げが検討されました、それでも学協会にとって大きな負担となるため、科研費申請をおこなうこととなりました。

3. 平成 30 年度国際情報発信強化（A）への申請参加の目的

科研費で申請する項目は下記の通りです。

- ・学協会コンソーシアムのメンバー機関会費 5 年間全額支援
- ・ ORCID 利用支援
- ・海外からの ORCID 関係者招聘費用
- ・ ORCID 広報費
- ・ ORCID 関連事務費

当会は、この科研費申請が採択されたなら、ORCID 学協会コンソーシアムの 1 団体として加わりますが、5 年間は費用負担が一切生じません。またコンソーシアム共有システムが利用できます。この期間に、当会にとって ORCID のメンバー機関であるべきか否かを判断する機会ともできます。

4. 当会が ORCID メンバー機関になるメリット

- ・ ORCID を取得している会員に対して受賞履歴や役員履歴などを ORCID レコードに書き込み会員の業績を証明できる。受賞履歴には討論会の優秀発表賞なども含めることにより、学生や若手研究者の業績の蓄積に貢献できる。
- ・ ORCID を取得している会員の査読業績（当会のジャーナルにおける）を ORCID レコードに書き込むことができる。

上記について可能になりますが、あくまでも会員が許諾を学会に与えた場合であり、書き込みの許諾があり書き込んだ場合でも、公開非公開は会員個人が決定できます。

5. 科研費参画条件

I. 出版ジャーナルの ORCID 登録義務化、もしくは推奨

- ① ジャーナル著者の ORCID 表示（ジャーナル上）
- ② 筆頭著者のみ、あるいは著者全員
- ③ Author Guideline の整備

II. UniBio Press が開催するセミナーに年間開催回数の 7 割出席すること。ただし、ORCID に関するセミナーには、出席は必須とする。

過去のセミナー<http://www.unibiopress.org/event/index.html>

上記が今回の科研費申請に加わるために、当会に求められており、別紙参画希望票の提出が必要となります。

以上

* 定款第 42 条「理事が理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について議決に加わることのできる理事の全員が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなすものとする。」

特定非営利活動法人 UniBio Press

理事 安達 淳 殿

平成 30 年度国際情報発信強化 (A)

参画希望票

私共「
」は、標記科研費に係る活動に学協会として参画を希望
します。つきましては、科研費採択決定後、下記のように、目標を定め、他学協会と連携、
協調して活動を進めます。なお、国際情報発信強化 (A) への申請はありません。
平成 年 月 日

学協会名

代表者名

印

必須条件 1
出版ジャーナルの ORCID 登録義務化、もしくは推奨 1. ジャーナル著者の ORCID 表示 (ジャーナル上) 2. 筆頭著者のみ、あるいは著者全員 3. Author Guideline の整備
目標
1. 必須条件を平成 31 年 3 月末までに策定すること 2. 「投稿者 ORCID 登録数と投稿全体に対する割合」平成 32 年 3 月報告 以後毎年報告 3. 編集業務における ORCID 登録義務化もしくは推奨によって起きた結果の状況報告 (例) 投稿時のリジェクト数増加/査読者決定がスムーズになった。/ 受理までの 日数短縮など ORCID 義務化、または推奨方針策定後、1 年目から毎年報告
必須条件 2
UniBio Press が開催するセミナーに年間開催回数の 7 割出席すること。ただし、ORCID に関するセミナーには、出席は必須とする。過去のセミナー内容は下記サイトから確認でき ます。 http://www.unibiopress.org/event/index.html
選択
1. 投稿査読システムとの連携 <input type="checkbox"/> 査読実績登録

*上記諸条件は、科研費採択により、ORCID 会費支援を受ける学会を対象とする

学協会 ORCID コンソーシアム参加学会 (学会負担で ORCID 会費支払を行う学会を含む)
1. コンソーシアム価格会費 2. 5 Credential の利用可能 3. ORCID Report 閲覧可能 4. ORCID に関する全般について UniBio Press へ、技術サポートは (株) アトラスへ問い合 わせ可能